

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名 『逸脱内側半月板に対する鏡視下 centralization 法の術後短期成績』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科では、逸脱した内側半月板に対する関節鏡治療（鏡視下 centralization 法）の短期成績を検討することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、変形性膝関節症の進行の抑制につながる可能性があります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2014年1月～2016年12月までに東邦大学医療センター大橋病院 整形外科において、逸脱内側半月板の診断で診療を受けた患者さん（約20例）を対象として、診療録（カルテ）から抽出した臨床データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。また、本研究に承諾しない場合でも不利益が生じることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 整形外科

職位・氏名 助教 望月 雄大

電話 03-3468-1251 内線 7507